

甲状腺疾患に対する内視鏡手術について

国際医療福祉大学三田病院

当院では、平成 26 年 6 月より先進医療として、甲状腺良性疾患・バセドー病などの甲状腺切除術や原発性・続発性副甲状腺機能亢進症に対する内視鏡手術を行ってきました。内視鏡による手術は一般に普及していますが、頸部腫瘍に対するアプローチは拡がっていません。当該手術は従来の手術法と比較し、良性病変の物理的除去および腫瘍随伴症状の改善による根治性はほぼ同定度に期待されます。また、当該手術法は反回神経や副甲状腺の視認が格段に向上するため、反回神経損傷や副甲状腺機能亢進症などの術後合併症を減らすことが期待できます。また、頸部に手術創がないために、術後の疼痛、ひきつれ感や違和感などの症状が軽減されます。さらに術後頸部創の整容性向上が期待できます。

これまでの当該手術の実績が評価され、先進医療であった、内視鏡下の頸部良性腫瘍手術は平成 28 年 4 月 1 日より、また、甲状腺癌に対する内視鏡手術は平成 30 年 4 月 1 日より健康保険の対象となりました。しかし、すべての症例で内視鏡手術が可能ではありません。適応の有無など、不明な点はお気軽にご相談下さい。

【保険収載名】

平成 28 年 4 月 1 日～

K461-2 内視鏡下甲状腺部分切除、腫瘍摘出術

K462-2 内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）

K464-2 内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術

平成 30 年 4 月 1 日～

K463-2 内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術

※治療に際しては、[限度額認定証](#)をご利用下さい。